

# 移住の利益を すべての人に

## 非正規移住

**非正規移住の問題は、どれだけ深刻なのですか。**

全世界で2億5,800万人に上る移民の大半は、正規に移動し、働いていますが、「非正規」の状態にある移民も数千万人に上ります<sup>1</sup>。

非正規移住という言葉には広い意味があり、多種多様な活動を包含しています。こうした活動は、ビザの期限切れのような比較的軽微な違反から、偽造文書の使用や無断越境などの重大な違反に至るまで、多岐に及びます。

非正規移住は、国家の威信を損ない、企業に不当な競争圧力を及ぼし、移民を危険にさらします。非正規の状態にある移民は、差別や社会的排除、虐待を受けるおそれが強まります。特にインフォーマル経済で働く場合には、救済の望みが実質的にほとんどないまま、雇用主の搾取を受けることが多くあります。その他、権利を否定され、苦境に陥っている移民もいますが、こうした移民は、

<sup>1</sup> 非正規移住に関する正確でグローバルな数字は入手しにくく、非正規状態の移民の割合も、地域によって異なっています。

保護や救済を求めることを恐れたり、そうすることが不可能だったりすることも多くあります。

**非正規移住を選ぶ人がいるのはなぜですか。**

非正規移住はしばしば、経済的な圧力や規制の不備を原因として生じます。国が正規移住に大きな障壁を設けたり、移民が労働市場のニーズを充足できる機会を十分に提供しなかったりすれば、企業や外国人労働者が特に単純労働とインフォーマル経済で、規制をかいくぐる誘因が生まれます。

同様に、労働者を受け入れていても、家族の呼び寄せを制約していることにより、規制に背く誘因を生み出してしまっている国もあります。

非正規移民の中には、受入国に定住し、その経済と社会に貢献しながらも、法律上はグレーゾーンに暮らしている人々も見られます。



移住のための  
グローバル・コンパクト

非正規移民を減らすうえで最も効果的な方法は、実際のところ、正規移住の道を拡大することです。各国政府が国内労働市場のニーズ充足に十分な数の移民を受け入れられる制度を設け、これが実際に利用できる場合には、非正規移住の主な誘因が排除されるだけでなく、移民を搾取から守ることも役立ちます。

## 各国政府はどうすれば非正規移住を制限できますか。

非正規移住に幅広い活動が関係しているのと同様、政府にも、それぞれの具体的な環境と政策上のジレンマに取り組むうえで、幅広い政策の選択肢があります。

こうした選択肢には、移民を自発的または強制的に帰還させることが含まれます。しかし、多くの国の当局は、帰還プログラムで基本的人権にかかわる義務を無視しているばかりか、こうしたプログラムの有効性自体が疑問視されることもしばしばあります。

基本的人権上の義務に違反する子どもの拘留と、その帰還については、特に大きな問題が絡んできます。こうした状況では、子どもの最善の利益を主原則とすべきです。

非正規移民を減らすうえで最も効果的な方法は、実際のところ、正規移住の道を拡大することです。各国政府が国内労働市場のニーズ充足に十分な数の移民を受け入れられる制度を設け、これが実際に利用できる場合には、非正規移住の主な誘因が排除されるだけでなく、移民を搾取から守ることに役立ちます。

非正規移民がすでに定住している場合、政府は、(i) その地位に関係なく、すべての移民が保健、教育その他のサービスを利用できるようにすること、(ii) 暫定的な在留許可証を発給し、難民の地位を正規化すること、および、(iii)

仕事や家族関係または人道的考慮などに基づき、永住許可または市民権獲得の道を提供することを含む政策を検討すべきです。

ほとんどいかなる場合も、当局が非正規移民を社会から隔離し、自国の領土に暮らすあらゆる人々を統治する国家の能力が損なわれるような状況が長引くことよりも、移住の正規化を計ることの方が勝ります。

日本語訳：国連広報センター